

第27回甲賀市水道事業審議会 次 第

日 時:平成27年 2月20日(金)

午後7時30分から

場 所:甲賀市役所甲南庁舎(第1会議室)

甲賀市市民憲章唱和

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛に あなたも仲間
いろどる山河と 生きいき文化
こぼれる笑顔に 応える安心
うみだす活力 受けつぐ伝統
かがやく未来に 鹿深の夢を

1. 開会のあいさつ
2. 審議会委員の委嘱状交付
3. 審議会会長、副会長選出
4. 甲賀市の水道事業概要 [資料1]
5. 審議
 - ① 平成26年度 甲賀市水道事業会計決算見込について [資料2]
 - ② 平成27年度 甲賀市水道事業会計予算(案)の概要について [資料3]
6. 会議内容等の公開、非公開の決定について
7. 閉会のあいさつ

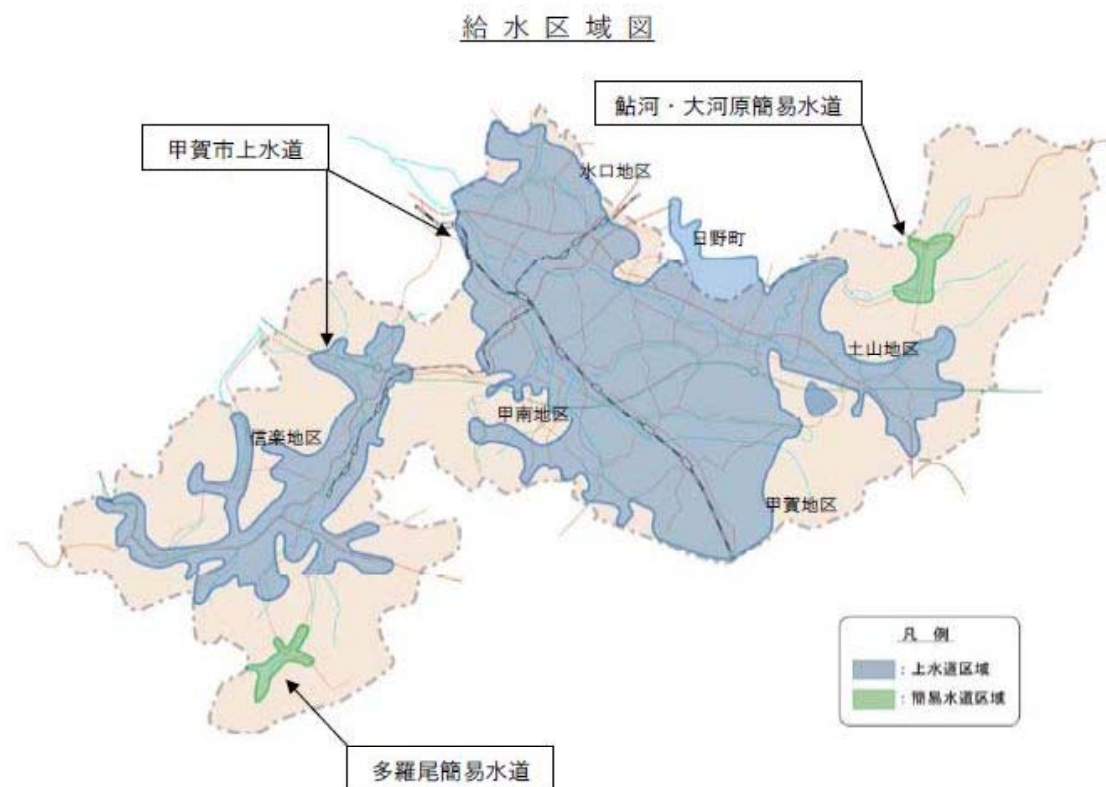
甲賀市水道事業概要

本市の水道は、昭和30年代に創設された簡易水道を母体として、拡張・統合をおこない、地域の発展と住民の生活に欠くことができない生活用水を安定供給できるよう施設の拡張を重ねてきました。

平成16年度の合併に際して水道事業においても経営統合を図るため、上水道の統合（日野町の一部地域を含む）をおこない、簡易水道事業では、土山地区の鮎河・大河原簡易水道、および信楽地区の多羅尾簡易水道の2地区を併せて3事業で運営しています。

水源は河川表流水、取水井戸及び県用水からの受水となっています。

県用水の受水は、昭和59年度から水口・甲賀・甲南地域へ供給されており、全体の64%を占めています。その他、工業用水が昭和44年から供給されており、現在水口地域の工業団地7社の企業で需要されています。



平成25年度末の行政区域人口は、93,154人、給水人口は、92,986人で、水道普及率は99.8%に達しています。市民の大部分が利用できるまでになった現在、快適性や適性水圧での給水、断水のない安定した水道水の供給を目指しています。

業務量

事 項		単 位	平成25年度末
行政区域人口		人	93,154
給水人口		人	(92,986) 94,142
計画給水人口		人	(100,265) 101,550
普及率		%	99.82
給水柱数		柱	33,860
配水量	年間	m ³	13,271,048
	1日平均	m ³	36,359
有収水量	年間	m ³	11,617,719
	1日平均	m ³	31,829
日最大配水量		m ³	41,927
有収率		%	87.54

※ 給水人口、計画給水人口には日野町を含み、()書きは甲賀市のそれぞれの内数とする。

※ 普及率は行政区域内人口に占める給水人口の割合で、日野町は含まない。

※ 有収率 (%) = $\frac{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{年間配水量 (m}^3\text{)}}$

水道施設としては、水源（河川表流水、取水井戸）、浄水場、配水池、加圧所で施設数は116箇所、管路は導水管、送水管、配水管併せて約890kmです。

施設数

施 設	箇 所 数	主な施設
水 源	28	水口野洲川取水・土山取水井戸・岩室取水井戸 寺庄取水井戸・信楽取水井戸等
浄水場	14	水口浄水場・岩室浄水場・寺庄浄水場 牧浄水場等
配水池（調整池）	44	虫生野配水池・土山配水池・長野配水池 菴法師配水池・信楽中央配水池等
加 圧 所	30	三大寺加圧所・黒川加圧所・油日加圧所 柑子加圧所・南新田加圧所等
合 計	116	

経営の面においては、最大で平成19年度末に約9億7千万円あった累積赤字も、平成20年度、平成23年度の2回の料金改定や県用水の受水料金の引下げなどにより、平成25年度末には累積赤字を解消することができました。ただし、本市の水道施設は、昭和40年代から50年代にかけて整備された施設が多く、老朽化が著しく更新の時期を迎えていることから、引き続き厳しい経営状況にあります。

財政収支状況

単位：千円（税抜）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)
収益的収入	2,408,213	2,645,280	2,620,191	2,633,005	2,633,383	2,743,944	2,667,610	3,192,000
収益的支出	2,546,445	2,524,522	2,503,130	2,542,760	2,421,042	2,467,977	2,430,635	2,920,000
当年度純利益 (損失)	-138,232	120,758	117,061	90,245	212,341	275,967	236,975	272,000
資本的収入	1,403,231	1,259,696	642,984	367,436	554,891	527,998	692,260	650,000
資本的支出	1,926,670	1,900,676	1,636,249	911,710	1,271,731	1,339,668	1,362,621	1,240,000
計	-523,439	-640,980	-993,265	-544,274	-716,840	-811,670	-670,361	-590,000
累積欠損金	971,016	850,258	733,197	642,952	413,429	137,462	-99,513	-371,513

※ 地方公営企業法の改正により、収益的収支の平成26年度見込みは、長期前受金戻入及びみなし償却制度の廃止に伴う償却費の増額分を計上。

水道料金の推移（メータ口径φ13mm）

（税抜）

合併時				
基本水量（m ³ ）	基本料金（円）	超過料金（円）	10m ³ 当り（円）	20m ³ 当り（円）
10	1,100	140	1,100	2,500
平成20年度改定				
基本水量（m ³ ）	基本料金（円）	超過料金（円）	10m ³ 当り（円）	20m ³ 当り（円）
10	1,210	160	1,210	2,810
平成23年度改定				
基本水量（m ³ ）	基本料金（円）	超過料金（円）	10m ³ 当り（円）	20m ³ 当り（円）
10	1,290	170	1,290	2,990

今後は、多くの施設が更新時期を迎える中で、安心・安全な水の供給や、災害にも安定的な給水を行うための施設水準の向上等に向けた取組が求められるとともに、その基礎となる運営基盤の強化や技術力の確保が必要とされています。これらの課題に適切に処理していくためには、水道事業を取り巻く環境を総合的に分析した上で、施設の広域的利用や統廃合なども含め計画的に推進していく必要があります。

平成 2 6 年度甲賀市水道事業会計決算見込の概要

平成 2 6 年度の水道事業における水需要は、これまでのように大口需要者による大幅な使用水量の低下は緩やかになったものの、前年度に比べ減少になることが見込まれます。

経営につきましては、2 回の料金改定やコストの見直しなどにより、平成 2 5 年度末に累積赤字が解消することができました。経営状態は、引き続き厳しい状況にはありますが、平成 2 6 年度の収益的収支の決算見込みは平成 2 3 年の料金改定時の予測値より下まわるものの、約 2 億 7 千万円程度の黒字を見込んでおり、今後の施設更新に向けた建設改良に積立が行えるものと考えています。

市民の生活に欠くことができない水道事業の維持管理につきましては、多くの施設が創設当時のものことから、経年劣化等による老朽化が著しく、修繕の管理費用が多額になっています。こうしたことから、平成 2 6 年度におきましても、水道水の安定供給の確保を図るため、配水池や浄水場における施設の更新整備や老朽管路の布設替などを実施する計画で、資本的収入については、6 億 5 千万円程度を、支出は 1 2 億 4 千万円程度を見込んでいます。資本的収入が資本的支出額に不足する額約 5 億 9 千万円は過年度損益勘定留保資金で補てんするものでございます。

○収益的収支（水道水をお届けするための財源と費用）

決算見込額	収入	3, 1 9 2, 0 0 0 千円
	支出	2, 9 2 0, 0 0 0 千円
	差引	2 7 2, 0 0 0 千円

【主な収入】

◎水道料金

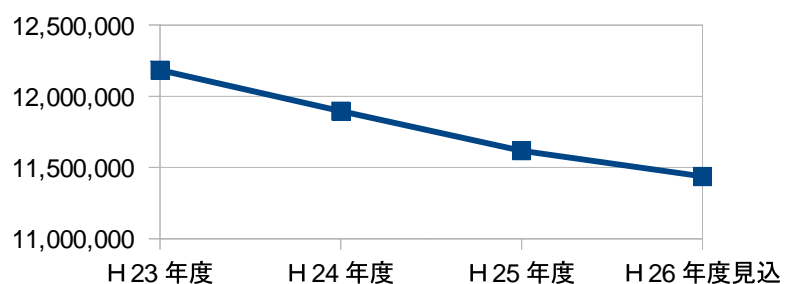
年間見込額 2, 5 4 7, 0 0 0 千円

有収水量推移

(単位: m³)

	全体使用水量
H23年度	12,182,889
H24年度	11,894,867
H25年度	11,617,719
H26年度見込	11,436,000

有収水量

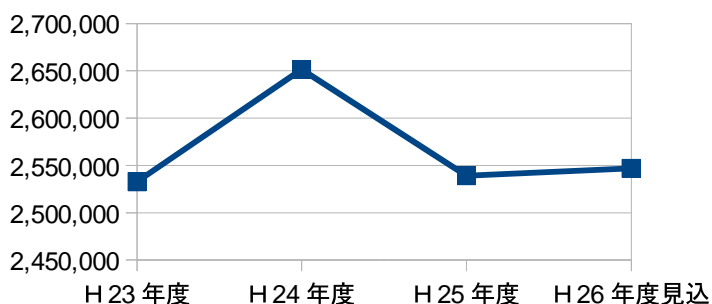


給水収益推移

(単位:千円)

	給水収益
H23年度	2,532,870
H24年度	2,651,452
H25年度	2,539,124
H26年度見込	2,547,000

給水収益推移

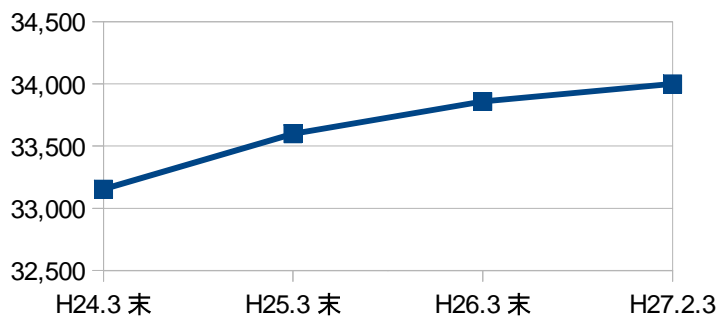


給水栓数推移

(単位:栓)

	給水栓数
H24.3末	33,154
H25.3末	33,598
H26.3末	33,860
H27.2.3	34,000

給水栓数推移



【主な支出】

◎施設の維持管理に係る経費 (抜粋)

・動力費、修繕費、施設運転管理	484,000千円
・県水受水費	1,017,000千円
・減価償却費	869,000千円
・企業債利息	145,000千円

○資本的収支 (水道施設を整備するための費用と財源)

決算見込額 収入	650,000千円
支出	1,240,000千円
差引	△590,000千円

【主な収入】

企業債	424,000千円
一般会計からの出資金	
合併特例債事業・簡易水道等企業債償還元金補給	71,000千円
負担金 工事分担金・新規加入申込金	148,000千円
補助金 国庫補助金・県補助金	7,000千円

【主な支出】

配水管整備等の建設工事費用

- ・委託料 見込額 40,000千円
老朽管布設替、下水道関連管路移設業務委託等・・・15件

- ・工事費 見込額 759,000千円
 - 〔上水道〕 虫生野配水池築造、老朽管布設替、下水道関連管路移設、舗装本復旧工事等・・・30件
 - 〔簡易水道〕 大河原地区加圧所更新、鮎河地区配給水管布設替工事等・・・3件

- ・固定資産購入費 見込額 16,000千円
給水車購入1台、公用車購入1台

企業債償還金(元金返済) 見込額 395,000千円

企業債残高 見込額 7,093,000千円

【年度別収納状況】

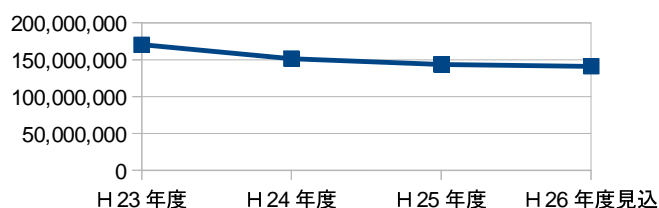
(消費税込:円)

		調定額(A)	収入済額	不納欠損額(B)	未収金額	収納率 (不納欠損含まない)	給水収益 (現年度A-B)
H23年度	現年度	2,532,872,279	2,500,980,751	1,905	31,889,623	98.74%	2,532,870,374
	過年度	197,317,102	36,287,889	22,596,931	138,432,282	18.39%	
	計	2,730,189,381	2,537,268,640	22,598,836	170,321,905	92.93%	
H24年度	現年度	2,651,476,691	2,618,748,252	24,191	32,704,248	98.77%	2,651,452,500
	過年度	170,395,773	36,990,455	14,671,320	118,733,998	21.71%	
	計	2,821,872,464	2,655,738,707	14,695,511	151,438,246	94.11%	
H25年度	現年度	2,539,126,988	2,509,036,999	2,709	30,087,280	98.81%	2,539,124,279
	過年度	151,713,878	35,613,747	2,552,185	113,547,946	23.47%	
	計	2,690,840,866	2,544,650,746	2,554,894	143,635,226	94.57%	
H26年度 見込	現年度	2,546,651,768	2,516,472,606	0	30,179,162	98.81%	2,546,651,768
	過年度	143,635,226	31,181,128	1,611,000	110,843,098	21.71%	
	計	2,690,286,994	2,547,653,734	1,611,000	141,022,260	94.70%	

《未収金の推移》

	未収金(円)
H23年度	170,321,905
H24年度	151,438,246
H25年度	143,635,226
H26年度見込	141,022,260

未収金の推移

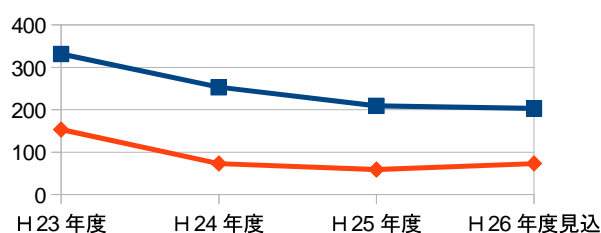


【給水停止】

(件)

	予告通知	執行
H23年度	331	153
H24年度	253	73
H25年度	209	59
H26年度見込	203	73

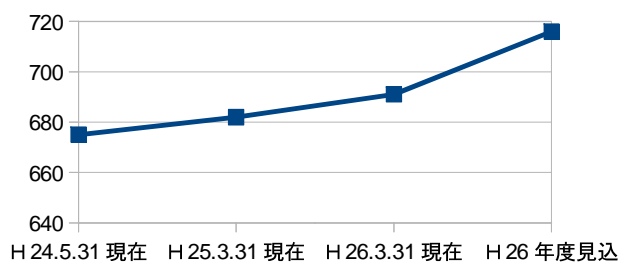
給水停止



【分納誓約】

	誓約者数
H24.5.31現在	675
H25.3.31現在	682
H26.3.31現在	691
H26年度見込	716

分納誓約



平成 27 年度甲賀市水道事業会計予算（案）の概要

平成 27 年度においては、事業所をはじめ、一般家庭の節水などにより、使用料金が減収することも予測されることや合併による激変緩和処置としての一般会計からの繰り入れが減額となることから、長期的な財政収支計画に基づいた事業収支に考慮しつつ、適正な維持管理と効率的な業務執行をめざした予算としています。

そうした中で、水道水の安定供給の確保を図るため、地域間連絡管の整備及び下水道などの関係機関の整備事業についても継続的に行う他、平成 27 年度は特に、漏水事故が発生しやすい石綿管路を主に老朽管路の更新整備を重点事業として実施します。また甲賀市管工事協同組合への 24 時間体制による待機業務、漏水修繕業務を委託していくとともに、引き続き水口・信楽地域の漏水調査を実施し有収率の引き上げをおこないます。

さらには、受付業務における市民サービスの向上と収納率の向上を図っていきます。

○収益的収支（水道水をお届けするための財源と費用）

予算要求額	収入	3, 133, 000 千円
	支出	3, 001, 000 千円
	差引	132, 000 千円

【主な収入】

◎水道料金 2, 573, 300 千円(前年度比△90, 600 千円)

◎他会計からの補助金等 113, 900 千円(前年度比△100, 000 千円)

・合併に伴う料金激変緩和措置（H27年度 50, 000 千円）

平成 27 年度で終了

・消火栓維持管理負担金

消火栓設置数 3, 311 箇所

【主な支出】

◎施設の維持管理に係る経費

・動力費 109, 400 千円(前年度比+2, 700 千円)

水源地、浄水場、配水池等の電気代

・修繕費 188, 800 (前年度比+15, 400 千円)

計装設備・水位計等修繕

漏水修繕

検定満期量水器修繕 6, 658 件

- ・委託料 306,400千円(前年度比△200千円)
 - 施設運転管理業務委託
 - 水質検査業務委託
 - 漏水調査業務委託(水口・信楽地区)
 - 上下水道料金等関連業務委託
- ・県水受水費 1,021,700千円(前年度比△200千円)

○資本的収支(水道施設を整備するための費用と財源)

予算要求額	収入	646,000千円
	支出	1,215,000千円
	差引	△569,000千円

【主な収入】

- ◎企業債 450,000千円(前年度比+18,000千円)
 - 建設改良費の借入
- ◎一般会計からの出資金 71,400千円(前年度比△700千円)
 - ・合併特例債事業
 - ・簡易水道等企業債償還元金補給
- ◎分担金 60,500千円(前年度比△23,500千円)
 - ・工事分担金
 - 下水道工事関連、消火栓設置工事
- ◎補助金 9,900千円(前年度比4,000千円)
 - ・国庫補助金 簡易水道事業
- ◎その他補助金 7,400千円(前年度比+7,400千円)
 - ・山村辺地活性化事業補助金(県)

【主な支出】

- ◎配水管整備等の建設工事費用
 - 委託料 147,800千円(前年度比+107,500千円)
 - 老朽配給水管布設替設計業務
 - 加圧所更新工事実施設計業務
 - 水源地改修設計業務
 - 浄水場水源・試験井戸調査業務
 - 工事費 466,500千円(前年度比△53,500千円)
 - 配水池テレメーター工事
 - 老朽配給水管布設替工事
 - 浄水場ろ過池更生工事
 - 下水道関連による配給水管移設工事
 - 隠岐・寺庄配水系統整備送水管布設工事(合併特例債関連)
- ・簡易水道設備工事費
 - 委託料 13,000千円(前年度比+3,000千円)
 - 多羅尾浄水場試験井戸調査業務他
 - 工事費 114,000千円(前年度比+59,000千円)
 - 鮎河地区配給水管布設替工事他
- ◎固定資産購入費 38,200千円(前年度比+21,100千円)
 - 公用車購入、上水道企業会計システム導入他
- ◎企業債償還金 397,000千円(前年度比+2,000千円)
 - ・企業債の元金返済

平成27年度工事予定箇所

		工 事 名	事業内容		備 考
1	広域連絡管整備	隠岐・寺庄配水系統整備送水管布設工事	L=670m	甲南町	
2	施設更新	大河原加圧ポンプ施設更新工事	加圧ポンプ1基	土山町	簡易水道
3		浄水場緩速ろ過池更生工事	5池	信楽町	牧・朝宮・小川
4	老朽管更新 整備延長L=5,900m	酒人地区配給水管布設替工事	L=230m	水口町	下水道関連
5		三大寺地区配水管布設替工事	L=60m	水口町	
6		鹿深地区配給水管布設替工事	L=130m	水口町	
7		南土山地区配給水管布設替工事	L=410m	土山町	
8		山中地区配水管布設替工事	L=290m	土山町	
9		頓宮地区配水管布設替工事	L=50m	土山町	
10		鮎河地区配給水管布設替工事	L=2,100m	土山町	簡易水道
11		油日開拓地区配給水管布設替工事	L=380m	甲賀町	
12		油日地区配給水管布設替工事	L=360m	甲賀町	
13		鳥居野地区配水管布設替工事	L=30m	甲賀町	
14		池田団地地区配給水管布設替工事	L=950m	甲南町	下水道関連
15		黄瀬地区配水管布設替工事	L=60m	信楽町	
16		牧地区配給水管布設替工事	L=50m	信楽町	
17		長野地区配給水管布設替工事	L=20m	信楽町	
18	神山地区配給水管布設替工事	L=550m	信楽町		
19	江田地区配給水管布設替工事	L=230m	信楽町		

上水道年度別事業計画

事業計画	事業量	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
虫生野配水池整備事業	配水池 3,000m ³						継続(H24～H27)
隠岐・寺庄配水池整備事業	送配水管 L=885m						継続(H25～H28)
信楽地区水源地変更整備事業 (信楽第二水源、小川地区、朝宮地区 多羅尾地区)	水源地調査 1.0式						(H27～H28) H30以降実施予定
平畑配水池整備事業	加圧所築造 1.0式						継続(H26～H30)
水口第一水源地・城山低区配水池改修事業	水源地・配水池整備 1.0式						継続(H26～H31)
橋梁添架更新事業(内貴橋)	送水管 L=220m						道路橋梁改良関連 (H27～H30)
国道一号線拡幅に伴う配水管整備事業	配水管布設L=2,140m						継続(H26～H27)
簡易水道施設整備事業(鮎河・大河原地区)	配水管布設L=3,320m 加圧所築造 1.0式						継続(H23～H28)
油日加圧所整備事業	加圧所築造 1.0式						(H30～H32)
黒川加圧所整備事業	加圧所築造 1.0式						(H29～H30)
新治加圧所更新事業	調整池 1.0式						(H28～H29)
新田加圧所整備事業	加圧所築造 1.0式						(H28～H29)
笹路配水池整備事業	配水池 1.0式						(H29～H31)
信楽ニュータウン整備事業	配水池 1.0式						(H30～H32)
水道管路老朽化更新事業	老朽管布設替 1.0式						継続
事業費(千円)		814,000	900,000	900,000	900,000	800,000	